

優っくり村乃木坂新聞

どのような職員がいるのか？もっと知りたい！ 職員に質問してみました！

1. 大好きな食べ物は

2. 最近のマイブームは？

3. 休日の過ごし方は？



中央(特養)から乃木坂(多機能)に移動されて1年が経っています。前職は各企業のデザイン部門グラフィックデザイナーを二十歳から四十年間続け定年退職。その後は家族と過ごすため近隣の職場を探していたところ目黒中央へ入職し介護の世界と出会うことになる。

介護職をやり始めて感じた事は、要介護5の方々いつも通り一緒に散歩をしている場面や、自身が介護をしている様々な場面で、いつの間にか自然のように介護ができる自分の姿に気が付き、前職とは全く違う自分の姿にびっくりした事だった。それと現在もデザイナーになった時に考えた働く事への基本的な理念・理想を持つて、「全ての人に喜んで頂く事や楽しんでも頂く事、素晴らしいと思つて頂ける事」が重要で、働く環境が違つたとしても同じ。働く事への姿勢は根本的に変わることはない」とおっしゃる事だった。

乃木坂ではお菓子作りにも挑戦中です。きっかけは利用者様からの「ナックは嫌」という一言。それ以来、手作りの温かさを感じていただけるよう工夫を重ねており、利用者様から「おいしい」と言われる大変うれしく思います。

趣味は高尾山など低めの山をのんびり歩く登山です。自然の中で心をリセットし、仕事へのエネルギーをいただいています。

利用者様やスタッフの皆さんと関わる時間は、日々の喜びであり活力です。これからも、自分ができる事を丁寧に、安定してお届けしていく事です。

変わりなく優っくりとした環境の手助けを

【インタビュー記事】

介護職について奉公会4年目で目黒区から港区への引越しに併せて、事業所も目黒

前職は出版社に勤めておりましたが、母の介護をきっかけに地域のボランティアへ参加し、介護の道進みました。ケアマネジャーや周囲の方々に助けられる中で、人のつながりの大切さを実感。気づけば介護職に携わって6年になります。

仕事で心がけてるのは「現状に慣れないこと」「限界を決めないこと」。これは以前の上司から「やだいた言葉で、今も大切にしています。

乃木坂では、極力「乾き物」のおやつを避け、手

作りで柔らかく、体に優しいものを提供すること

を大切にしています。これからも、ご利用者様の笑顔と健康のために、職員一同、愛情を込めたお

やつ作りを続けてまいります。

乃木坂では、毎日午後3時のおやつの時間に、職員が心を込めて手作りしたおやつを提供しています。「皆さんに少しでも喜んでいただきたい」という温かい想いから、毎日手作りを続けている取り組みです。

これまでに提供したおやつには、「紅茶シフォンケーキ」「ベジタブルケーキ」「小豆アイス」「ようかん」「ミニパフェ」「ドーナツ」など、どれも工夫が凝らされたメニューが並びます。季節感や栄養バランスを考慮しながら、バリエーション豊かにご利用



岡島 耕二
おかじま こうじ

- 1.お刺身
2.ペビメタ(1970-1990)
3.睡眠

挑戦と利用者様の 喜びのために

【インタビュー記事】

前職は出版社に勤めておりましたが、母の介護

をきっかけに地域のボランティアへ参加し、介護

の道進みました。ケアマネジャーや周囲の方々

に助けられる中で、人のつながりの大切さを

実感。気づけば介護職に携わって6年になります。

仕事で心がけてるのは「現状に慣れないこと」「限界を決めないこと」。これは以前の上司から「やだいた言葉で、今も大切にしています。

乃木坂では、極力「乾き物」のおやつを避け、手

作りで柔らかく、体に優しいものを提供すること

を大切にしています。これからも、ご利用者様の笑顔と健康のために、職員一同、愛情を込めたお

やつ作りを続けてまいります。

乃木坂では、毎日午後3時のおやつの時間に、

職員が心を込めて手作りしたおやつを提供して

います。「皆さんに少しでも喜んでいただきたい

という温かい想いから、毎日手作りを続けている

取り組みです。

これまでに提供したおやつには、「紅茶シフォンケーキ」「ベジタブルケーキ」「小豆アイス」「ようかん」「ミニパフェ」「ドーナツ」など、どれも工夫が凝らされたメニューが並びます。季節感や栄養バランスを考慮しながら、バリエーション豊かにご利用



金子 嘉美
かねこ よしみ

- 1.くるみ
2.登山・釣り・本屋に行く
3.回転ずしに行く

「手作りお菓子」優しいひと手間」



7月のイベント

『七夕の願い事』



『介護という新たな世界へ』

日本は世界でも有数の超高齢社会を迎え、介護のニーズがますます高まっています。しかし、その一方で深刻な人手不足が課題となっています。そこで地域や行政、介護事業所が一丸となり、介護分野での「就業促進」に力を注いでいます。優ぐり村でも「就業促進」に取り組んでいます。また未経験の方でも安心してスタートできる環境づくりが進めており、例えば資格取得を全面的にサポートする制度や充実した研修体制を整え、介護の仕事に挑戦する方々の成長をしっかりとバックアップしています。研修を通じて介護の専門的なノウハウや実践スキルをしっかりと学ぶことで、介護サービスの質が大きく向上させられるよう活動しています。



7月7日の七夕に合わせて、当施設では「利用者様と一緒に短冊を飾りました。今回の七夕の飾りは、隣接施設の保育施設「あうびい」さんの子どもたちにもご参加いただきました。笹の木は、ご利用者様ご家族のご厚意により、お庭から一本ご提供いただき、立派な七夕飾りを作ることができました。「美味しいご飯が食べたい」「みんなが元気でいられますように」など、ご利用者様は思い思いに願いごとを書いてくださいました。参加してくれた子どもたちやご家族の皆様も、たくさんご願いごとを短冊に書いてくださり、その様子を微笑ましく拝見いたしました。七夕のおやつには、七夕にちなんだ手作りデザートが提供され、「とてもきれいね」「美味しい」とたくさんの方の喜びの声が聞かれました。七夕の由来は、中国の伝説に基づいており、織姫こと座のベガと彦星・わし座のアルタイルが、天の川を隔てて住み、年に一度、7月7日の夜にだけ会うことができるというロマンチックなお話です。年齢を問わず、願いを込めて心をつなぐ七夕の行事は、地域交流の場としても温かなひとときとなりました。



この日ご参加されたご利用者様の一人は、「港区に長年住んでいますが、こんな素敵な場所があるとは知りませんでした」と目を輝かせて話してくださいました。

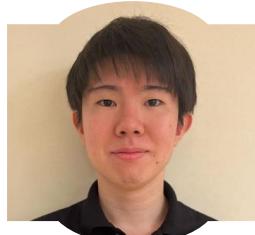
境内の一角には、大型の神輿が展示された建物もあり、その迫力に職員もご利用者様も思わず見入ってしまう場面がありました。水川神社は「38年に建立され、関東大震災や東京大空襲といった幾多の災害を免れ、現在もその姿を保っているそうです。

神社の持つ歴史的価値と魅力に心を動かされた様子がうかがえました。港区の喧騒を忘れさせてくれるこの神社は、地域に暮らす方々だけでなく、訪れるすべての人にとって、心安らぐ憩いの場となっています。

7月の猛暑が続いた日々から一転、涼しい雨が降る過ごしやすい日が訪れたある日、外出レクリエーションの一環として、赤坂にある「水川神社」への訪問を実施いたしました。

『神社巡礼～第二弾～』

『現在、空きがございます!!』



和田 直大

わだ ちひろ

【支配人・ケアマネ】

加藤 仁啓

かとう よしひろ

【介護支援課長】

ご利用案内登録定員：25名

通い：1日15名まで

泊まり：個室9室（1日）

訪問：制限なし（ご希望に応じて対応）

・看護師が毎日常駐

・理学療法士在籍／リハビリ評価も実施 - 送迎対応港区
内全域に対応！

- 医療・リハビリも安心 -

（所在地）〒107-0052
東京都港区赤坂9丁目4-2 パークコート赤坂檜町ザタワー2階
(問い合わせ) 03-6804-5267

